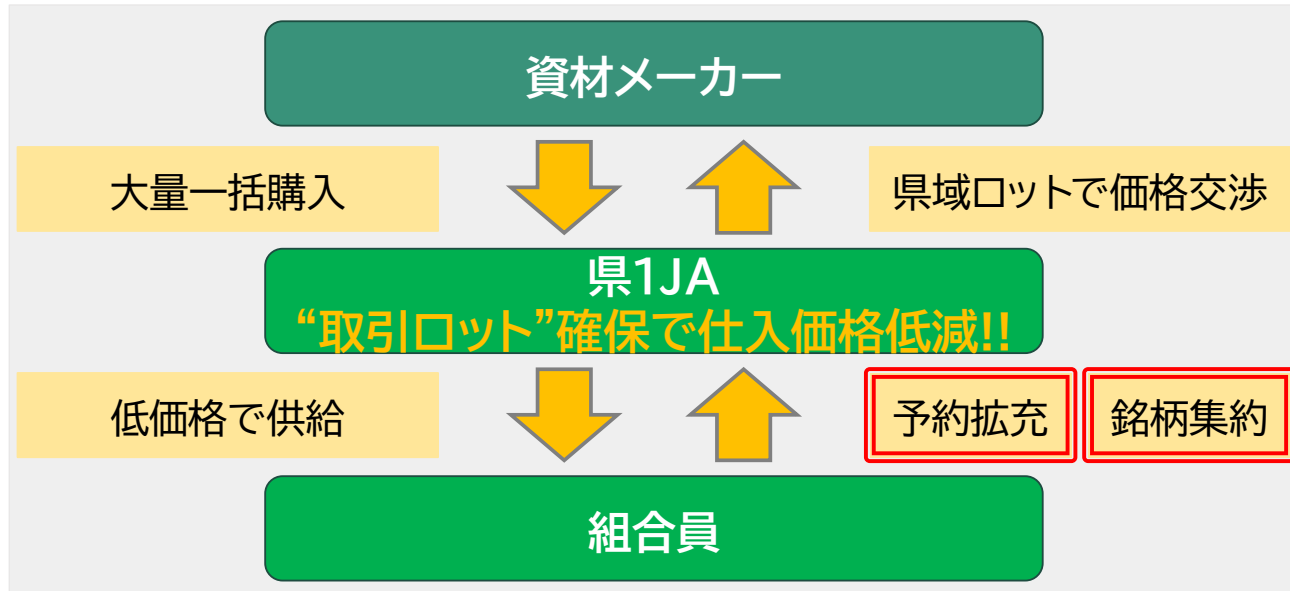


県1JA構想について ～こんなJAを目指しています～



Vol. 4 より低価格な生産資材の提供を目指して

第4号のかわら版は、皆さんも気になる生産資材価格低減に向けた購買事業の検討方向についてご紹介します。トータル生産コスト低減の仕組みについてご理解頂き、組合員・JAが一丸となって所得向上の実現を目指しましょう。



【取引ロット確保による価格低減イメージ】

急激な円安等の影響により、肥料・農薬価格の上昇、穀物・燃料価格の高騰など農業経営を取り巻く環境は厳しい状況となっています。県1JAでは、スケールメリットを最大限に発揮し、組合員に安定して低価格な生産資材を提供します。そのため、①予約購買率の向上による共同購入の徹底、②生産資材の品目や仕入れ先等の集約、③物流や業務の効率化等によって、組合員の所得向上に向けたトータル生産コスト低減を目指します。

購買事業の検討方向

購買事業の取り組み

1. 予約購買の徹底
生産資材価格の低減を実現するためには、予約購買率を高めて共同購入の取り組みを徹底することが必要不可欠です。そのため、営農情報を活用した適正施肥設計の提案や、予約注文書の全戸配布・注文漏れ防止策等を徹底し、予約率向上を図ります。
2. 生産資材の銘柄集約
生産品目の栽培指針等で推奨する生産資材（肥料・農薬等）を見直し、銘柄集約することで発注ロットを増やし、仕入単価の低減を目指します。
3. IT化の促進
組合員の利便性向上を図るため、組合員が営農センタ―等の資材取扱店舗に足を運ぶことなく、スマートフォンやパソコンから肥料・農薬を予約注文できる仕組みを整えます。また、事務作業はシステム化を進め、業務効率化（作業時間短縮・発注ミス防止等）に取り組みむとともに、在庫管理の徹底など、管理コストを削減します。

4. 出荷資材の規格統一
同一品目の出荷資材については、規格・サイズ・デザイン等の統一を進め、ロットの拡大による販売資材コスト低減を実現します。また、地区本部（旧JA）間連携を図り、適正な在庫管理にも取り組みます。
5. 物流の合理化・効率化
物流における2024年問題で、輸送能力不足や物流費の上昇が懸念されています。県1JAは、物流の合理化・効率化を目指し、施設・関係機関等との連携によって県域共同物流体制（広域的な物流網）の構築を目指します。



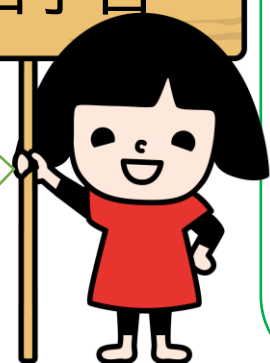
【出荷資材統一によるコスト低減】

“トータル生産コスト低減”とは？
単に資材価格を下げるだけでなく、物財費削減、労働費低減、生産性向上といった農業生産のトータルの視点で農業者の所得向上をめざす考え方です。

えみちゃん用語解説

次回予告

今回は新規就農支援の検討方向について解説するよ！



えみ
笑味ちゃん
©よい食プロジェクト

県1JAにかかるご意見・ご要望 はこちらまで!!

本年(R6年)12月に開催予定のJA愛媛県大会に向けて、県1JA構想を検討しています。よりよい構想づくりをすすめるため、組合員の皆さまからの県1JA構想にかかる率直なご意見・ご要望をお聞かせください。

